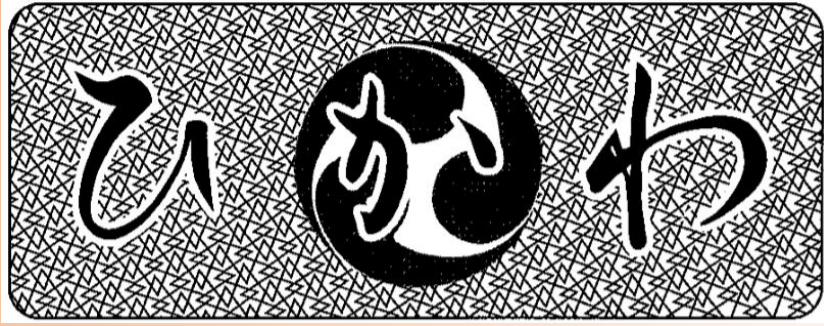




発行所

氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



令和七年 ひなまつり餅つき大会

すばらしい快晴のもと、多くの方にご参加いただきました

3月2日(日)「ひなまつり餅つき大会」が行われました。(於氷川神社境内)
この「ひなまつり餅つき大会」は氏子青年会主催で昭和44年から始まり、毎年3月に行われており、氏子地域にも根付いている伝統行事であります。朝からお餅を準備し、氏神様に奉納したのちに、地域の皆様に振舞うものです。
2020年1月にコロナ禍となつてからは、3年間中止を強いられ、開催することはできませんでした。主催者の氏子青年会に加えて、高南宝扇会の皆様にも手伝って戴きました。高南宝扇会の皆様には、お餅の準備や受付、接客をして戴きました。事前に関係者で打合せを進めてきたこともあり、当日は手際よく作業を進めることができました。
当日は3月とは思えないほど、気温が上がり、快晴に恵まれました。出来上がったお餅を氏神様に奉納して、氏子青年会の役員の皆様で祈願しました。
開始時間前から多くの来場者であつたという境内は賑やかになり、天鼓隊による太鼓演奏、高円寺パル商店街で定期的に和楽器演奏を披露しているパルポップスコンサートの皆様には、竹バイオリン、お琴による美しい音楽を提供して戴きました。当日は子供たちの元気いっばいの姿に元気づけられました。また日頃から神社の活動にご協力を戴いている方々も、多くお越し戴きました。
関係者全員のご尽力もあり、大きな事故なく無事に終了することができました。
昭和に始まったこの餅つき大会ですが、平成、令和と確実に受け継がれており、若返りが進んでいる氏子青年会の中心的行事として、来年以降も皆様に集まって戴けるものにしていきたいと思います。



ひな祭り餅つき大会の様子



宝扇会の皆様のサポートも欠かせません



氏子青年会の皆様

ひな祭り餅つき大会当日は朝から気温が上がり、抜けるような快晴となりました。早朝から神社境内に集合し、準備に取り掛かりました。前日にごしらえしたもち米を炊き、できあがった餅はすぐに石臼に運ばれ、餅つきが始まりました。一人ずつ掛け声をかけながら餅をつきました。出来上がった餅は高南宝扇会の皆様が一つつ形を整え、あんこやきな粉を添えて戴きました。



今年も長い行列ができました



パルポップスコンサートによる和楽器の演奏



トランスアトランティック・ラインシュランスカンパニー



3月4日(火) トランスアトランティック・ラインシュランスカンパニー様が気象神社にご来社されました。

同社の正式参拝は今回で3回目となります。今回はアメリカ本社の社長を含め外国人役員6名もご参加されました。東京支店では日本の損害保険会社(台風、地震)の再保険引き受けを主な事業としています。昨今、日本各地でも大雨による土砂災害、浸水害、洪水、大雪による着雪、着氷、融雪、雪崩などの気象災害が頻発しています。自然現象に抗うことは難しいですが、大難が小難となることを祈願させて戴きました。

近年は日本の損害保険会社のご参拝も増えております。皆様の思いが少しでも形になることを祈念申し上げます。

★かつてのこうえんじん★
〜第十四話〜

狩野俊



レトロな洋菓子シベリアで有名な丸十パンヒロセが、年末からシャッターを下ろしたままで、気になっていたが、とある日に店内の解体をしている現場に出くわした。私の知る限り、高円寺でもっとも古い商店の、あつけない最期だった。

大正14年に開店した高円寺丸十パンは、明治31年産まれ山梨県塩山の出身の雨宮平三郎が創業した。氏は戦後に区議会議員を3期務め、杉並区防犯協会の理事を始めとする様々な役職を歴任し、地元の杉並、高円寺に貢献した。

丸十パンは、元を辿ると、同じ塩山出身の田辺玄平にいきつく。彼は台湾での鋼山開発に失敗し、それを挽回すべく明治40年渡米。皿洗いなどをしながら苦学の末に、当時は画期的なドライ・イーストを開発した。

江戸には無かった、見たこともない食べ物産みだすという、明治期から始まった我が国のパン製造の歴史は、近代化で経験した他の事物の導入同様、波乱万丈という言葉では言い表せない、様々な困難に直面した。外国人のみ知り得たパンのつくり方は門外不出で、とくに秘中の秘とされたのが当時「タネ」と呼ばれた酵母の扱い方。管理をする「タネモチ」はその内情を配下の職工にも教えないという、徹底したものだった。その製造法をスパイまがいの手法で手に入れた日本人もいたが、彼らは彼らで情報を外に出すことなく、内に秘めてパンをつくり続けた。明治初期から大正期までの生の酵母を使ったパン作りは、湿度や気候に大きく影響される、不安定なものだったという。粉に加えるだけで、安定した発酵をもたらすドライ・イーストは、革命的ともいえる製品だった。パンの製造法を秘密にすることで、わが身を守っていた多くのパン職人の存在を脅かす、ドライ・イーストの衝撃を十分に知っていた田辺は、宣伝などは一切しないで、求めて来た人へのみ分け、彼らが職を失うのを防いだと言われている。

その徳を慕う人びとが田辺の元に集まり、生家の紋を用いた丸十パングループが出来上がった。門弟は東京はおろか全国に広がり、その一人が高円寺丸十パンの創業者雨宮平三郎である。

我が国の製パンの歴史を紐解くうちに「雨宮」という姓を持つ人物が何人か浮かんできた。田辺の初期の五名の高弟のひとり、雨宮五六。雨宮麟次郎は万延元年(1860年)甲州産まれ、明治初期東京でパンをつくっていたのが、6・7名しかいないという時代、当時の名店葛本パンの職人として名が通っており、また後進の指導にいらしていたと記録にある。秘密主義が横行していた時代に、惜しげもなく自分の持つ知識を伝える彼の姿勢が、製パンの歴史に名を刻んだのだろう。同じく葛本パンで働いていたという雨宮養堂。そして日本製粉など多くの企業を創業した雨宮敬次郎にたどり着く。孝明天皇が即位した弘化3年(1846年)産まれ、若くして大きな資産をつくらったが、相場で浮沈を繰り返す。思うところあり、明治9年にアメリカとヨーロッパへ渡り、近代国家とは何かを身の内に入れ、鉄道、製鉄、水道、など社会基盤の整備こそ、近代化のかなめと見極めた。

「政治の伊藤博文、金の安田善次郎、事業の雨宮敬次郎」とも謳われた、山梨県塩山産まれの実業家だ。新宿と八王子を結んでいた中央線の前進、甲武鉄道に投資し、株価の下落に乗じて株を買い増し、同社の取締役に就任し、甲府までの延伸を図る。塩山方面へ中央線が大きく北に曲がっているのは、故郷に鉄道を通し駅をつくるために、敬次郎が政治力を使い行なったと言われている。東京を中心に物事を考えがちだが、中央線は甲府産まれの企業家が、山梨に引つ張ったことに驚く。塩山。この土地が一本の糸のように、今まで書いて来た人々を繋いでいるのがわかる。雨宮の姓を持った人たちと、平三郎との繋がりは記録に残っていないが、地縁はもちろん

あっただろうし、血縁があったとしてもおかしくはない。我が国の基盤をつくり食糧問題を解決すべく、パン作りの原点である製粉の道を雨宮敬次郎が切り開き。田辺玄平は、常に地域社会とそこに済む顧客を考えて道を開けと弟子に諭し、一般家庭でも簡単にパンをつくれるドライ・イーストを開発し、食の可能性を広げた。その弟子たちのひとり雨宮平三郎は、田辺の言葉を肝に銘じて、大衆に向けてパンを街でつくり売り、地域に貢献し生き抜いた。

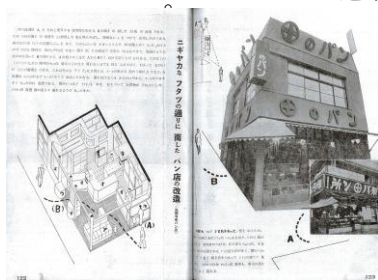
「一身にして二世を経る」一つの身体で、二つの生涯を生きた、という意味の福沢諭吉の言葉だ。今では考えもつかないほど、近世と近代の落差は激しく、近代という荒波は途方もなく大きかったのだろう。その時代を生きた抜いた人間の、大きなため息のような、しかし満足げなこの言葉を、改めて噛み締めていた。高円寺丸十パンヒロセから辿って見えて来た、我が国のパンの歴史は、無から有をつくるという、ダイナミックな物語であった。それに対して、何もかもがある、便利すぎる現代。幸せとは何か、生きるといことはどういうことか。歴史とは、過去に生きた人からの、こういう声に耳を傾けることなのではないかと、今回の文章を書きながら思った。



大正14年に創業した雨宮平三郎氏



高円寺中通商店街



戦前の店舗の様子



丸十パンヒロセ

高円寺横断ウルトラ・ラリー

3月1日(土)高円寺横断ウルトラ・ラリーが開催されました。

自分たちが暮らすこの高円寺をより知って愛着を持つと、平成5年度から始まったウルトラ・ラリーですが、コロナ禍のため、しばらく中止が続きました。昨年5年ぶりに開催することができました。今年は約100名の児童たちが高円寺の町を歩き、各スポーツでクイズゲームなどをクリアし、得点を競いました。気象神社も昨年からスポットの一つになり、お天気に関するクイズを1問出しました。



とても暖かく、弱風、梅の花も満開の中、クイズゲームをする事ができました。

令和7年4月の御朱印

今月の御朱印



今月の花手水

【氷川神社】

- ・お花見の三つ巴
- ・お花見をするクマさん

【気象神社】

- ・鮮やかな桜の木
- ・おにぎりを食べるクマさん
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載してますので、ご覧ください。



いのち 生命の言葉(令和七年四月)

橋本佐内は日本の武士、思想家。著書に15歳の時に「志」を記した「啓発録」がある。安政の大獄で25歳で死罪となった。



氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

◆ご祈禱のご案内



4月26日(土)27日(日)第17回高円寺びっくり大道芸が高円寺各所で開催されます。圧巻のパフォーマンスをお楽しみください。

◆第17回高円寺びっくり大道芸

今月の盆栽



氏子地域の盆栽屋ラビデアッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ229号をお送りしました。徐々に大陸からの寒気が弱まり、この時期は日本付近を1週間程度の周期で高気圧と低気圧が通過するため、天気が不安定になり、風も強くなります。この3月はとても寒い日が多かったように思います。

先月のひな祭り餅つき大会は天気に恵まれ、皆様に楽しんで戴けたことと思います。次の大きな行事は6月1日の気象祭気象神社の例大祭です。今後とも宜しくお願い申し上げます。